

交流の中心となる地域区民ひろばの展開

- 全小学校区（22 地区）で区民ひろばを実施するとともに、事業の充実、利用者の拡大を推進する。
- 運営協議会を主体にした自主運営移行モデル事業を実施する。
- 区民ひろば内の区民集会室の位置づけを整理する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

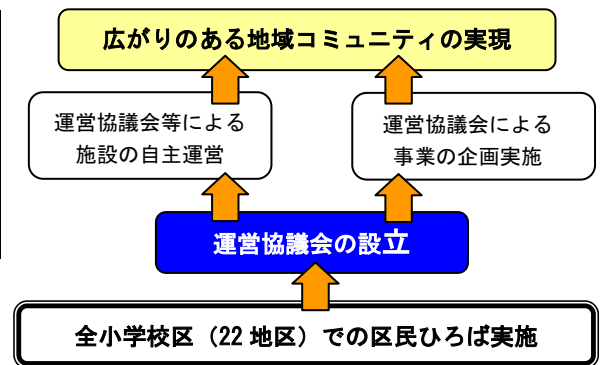
- ◆ 地域区民ひろば自主運営移行モデル事業 123
- ◆ 地域区民ひろば施設の改修 124
- ◆ 地域区民ひろば運営協議会の活動支援 125



【区民ひろば運営協議会】

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
区民ひろば実施地区数	15地区	18地区	19地区	22地区
運営協議会設立地区数	6地区	18地区	19地区	22地区
自主運営地区数	0地区	0地区	15地区	22地区



豊かなつながり「地域の力」

- 地域協議会を設置し、地域の情報共有と課題共有を図りながら、協働によるまちづくりを推進する。
- 地域コミュニティの形成を推進するため、中高層集合住宅居住者の町会加入促進等を図り、地域の地縁団体である町会組織の機能強化を積極的に支援する。
- 町会が設置する掲示板について、4カ年で120基の改築と300基の改修を行ない、その経費を支援することで、地域コミュニティ形成に寄与する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 地域協議会モデル事業 130
- ◆ 区政協力活動事業 129
- ◆ 町会活動活性化支援事業 128

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
協議会（モデル事業）設置地区	—	1地区	→	→
集合住宅町会加入率	—	46%	60%	70%
掲示板助成件数	—	—	4年計 420基	→

参加・協働

3

大学との連携・協働の推進

- これまで各大学と個別に実施してきた知識・教養型の大学公開講座を再編し、地域活動や文化の担い手育成のための実践的な生涯学習プログラムとして「としまコミュニティ大学」事業を展開する。
- これまで取り組んできた大学と地域の小中学校との教育連携をさらに推進し、大学の知的・人的資源を活かした区独自の教育プログラムの展開・拡大を図る。
- 区内大学との連携・協働に関する包括協定に基づき連携推進協議会を設置し、各大学の特色を活かした事業について協議し、具体化を図っていく。
- 多様な連携事業を通じて学生と地域との交流を促進し、そのエネルギーを地域の活性化に活用する。
- 区と大学との協働による政策研究・施策づくりを推進し、地域課題の解決力を高める。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 大学との協働による「としまコミュニティ大学」 277
- ◆ 【再掲】としま図書館ネットワーク事業 283
- ◆ 【再掲】としま教育ネットワーク事業 104

豊島区と区内大学との
連携・協働に関する包括協定



相互の教育機能の向上
としまコミュニティ大学
としま教育ネットワーク

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
としまコミュニティ大学講座開催数	6講座 (8回)	14講座 (34回)	→	→
教育連携提携校数	11校	27校	28校	31校
大学との連携による共同研究件数	—	1件	毎年度1件	毎年度1件

参加・協働

4

区民活動団体の支援

- 区民活動センターあり方検討委員会の報告等を踏まえ、区民活動センターの機能強化を推進する。
- NPO法人設立セミナー、経営支援講座、コミュニティビジネスのフォーラム等、区民活動団体の状況に適した情報提供を行ない、団体の基盤強化を支援して協働事業を推進する。
- 「区民活動支援事業補助金」の充実を図り、地域課題を解決するために区民が自主的に取り組む活動を支援する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 区民活動センターの管理運営 126
 - ◇ 相談日数の拡充
- ◆ コミュニティビジネスのフォーラムの実施 131
- ◆ 区民活動支援のための事業補助 127



【区民活動センター】

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
区民活動センター相談窓口の開設日数	—	全日：週2日 半日：週3日	全日：週5日	→
支援講座、シンポジウムの参加人数	59人	303人	→	→
区民活動支援事業補助金申請件数	109件	89件	→	→



【協働シンポジウム】

